

平成27年度 老朽ため池等整備事業 再評価調書

事業名	老朽ため池等整備事業	地区名	奥の池地区 <small>おくのいけちく</small>
事業主体	徳島県	関係市町村	美馬市
事業概要	<p>(事業目的)</p> <p>本地区は、吉野川中流域の北岸 美馬市脇町に位置し、南部の平坦地と北部の丘陵地に囲まれた地域であり、緑と水の田園風景が広がる自然豊かな農業地帯である。2つのため池（奥の池、新池）の築造経過年は、80年以上であり、洪水吐の老朽化による漏水と排水能力不足、取水施設の老朽化による操作不能、堤体の余裕高不足などにより、決壊の危険が生じている。</p> <p>このため規模が小さく、より老朽化の著しい新池を埋め立て、2つのため池の機能を奥の池に統合し、地域防災の安全度の向上、安定した用水の供給、維持管理の節減と効率化を図る。</p>		
	<p>(事業内容)</p> <p>受益面積 22.3ha 受益戸数 26戸 主要工事 堤体工 1.0式 洪水吐工 1.0式 取水工 1.0式 付帯工 1.0式 仮設工 1.0式 総事業費 389,200千円 (国55%, 県25%, 市20%) 工期 平成18年度～平成30年度</p>		
評価	<p>(事業の進捗状況)</p> <p>平成26年度までに新池の埋め立て及び仮設道路、洪水吐工の下流側水路が完了している。 平成27年度末までの事業費進捗率は53%である。</p>		
	<p>(関連事業の進捗状況)</p> <p>該当なし。</p>		
評価項目	<p>(社会経済情勢の変化)</p> <p>高齢化は進んでいるが、地区の営農意欲は強いことから、安定した用水供給の必要性に変わりはない。また、東日本大震災により社会的関心も高まっており、地域防災の観点からも、施設の安全度の向上が一層強く望まれている。</p>		
	<p>(計画上重要な部分の変更の必要性の有無)</p> <p>該当なし。</p>		
目	<p>(事業効果の発現状況)</p> <p>破堤の危険性が高まっていた新池については、平成26年度までに埋め立てが完了し堤体決壊のリスクを回避できた。また、下流側水路の完了により排水機能が向上した。奥の池についても、現在、開削により取水施設（底樋）を施工中であり、残る堤体工の早期完了に向けて努力する。</p> <p>総費用総便益比＝総便益／総費用＝1.47</p>		
	<p>(受益農家、関係機関の意向)</p> <p>美馬市及び地元は、早期完成を強く要望している。</p>		
	<p>(事業の実施方針)</p> <p>継続して事業を実施する。</p>		